

# 第 1 回

## (仮称) 小牧市第 3 老人福祉センター建設検討委員会

### 議 事 録 要 旨

- ・開催日時：平成 30 年 10 月 31 日（水）10：00～
- ・開催場所：市役所 2 階 202 会議室

所 属	役 職	氏 名	出 欠
小牧市区長会連合会に属する者	連合会長	小柳 松夫	○
小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会に属する者	味噌地区副会長	今村 究	○
小牧市老人クラブ連合会に属する者	小牧西部地区会長	児玉 豊	○
市民団体に属する者	小牧市女性の会会長	酒井 美代子	○
社会福祉法人小牧市社会福祉協議会に属する者	局長	松岡 和宏	○
市内の地域包括支援センターに属する者	味噌地域包括支援センター管理者	小林 永尚	○
小牧市老人福祉センターの指定管理者	「野口の郷」所長	稲垣 周二	○
学識経験者	名古屋経済大学 副学長	中村 昭典	○
市内に在住する者で、老人福祉センターに関心のあるもの		桑山 美知代	○
市内に在住する者で、老人福祉センターに関心のあるもの		中村 豊子	○

《事務局》健康福祉部（廣畑部長）、長寿・障がい福祉課（山本課長、白木係長、鈴木主査、徳田主事）  
株式会社オオバ（丸山、木村、竹内）

《傍聴者》なし

《配布資料》

- ・次第
- ・資料-1：要綱、名簿及び座席表（A4／計3枚）
- ・資料-2：スケジュール（A4／1枚）
- ・資料-3：(仮称) 第3老人福祉センター 建設予定地の概要（A3／5枚）
- ・パンフレット（野口の郷、小針の郷／各1部）

## 1 あいさつ

### ○事務局：白木

- ・本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。これより、第1回（仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会（以下、「本委員会」という。）を開会いたします。会の開催に先立ちまして、小牧市健康福祉部長 廣畑より挨拶を申し上げます。



### ○健康福祉部長：廣畑

- ・委員の皆様、おはようございます。健康福祉部長の廣畑でございます。本日は、大変お忙しい中、本委員会へのご出席及び委員にご就任いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から本市の健康福祉行政にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
- ・皆様もご承知の通り、全国的に高齢化が進んでおり、本市においても平成30年10月1日時点での高齢化率は24.0%と、全国平均の28.1%よりも下回ってはおりますが、今後も高齢者数は年々増加していくことが予想されております。
- ・本市では、高齢者の方がいつまでも元気にいきいきとした生活を送り続けていただくため、健康の増進や教養の向上を目的として、市内に「野口の郷」「小針の郷」の2箇所の老人福祉センターを設置しております。「野口の郷」につきましては、今年度改築を行い、今月1日に新施設として供用を開始しました。さらに、新たな老人福祉センターの設置に対する市民の方々からのご要望も数多くいただいていることから、昨年度、久保一色地内に市内3箇所目となる老人福祉センターを建設することを決定いたしました。今年度は、新たに建設する老人福祉センターの基本構想・基本計画の策定を進めてまいりたいと考えております。
- ・本委員会につきましては、今年度4回の開催を予定しております。委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただき、より良い基本構想・基本計画にしてまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

### ○事務局：白木

- ・委員の皆様におかれましては、本委員会委員の就任について、ご快諾いただき御礼を申し上げます。本来であれば、山下市長からお一人ずつ委嘱状を交付させていただくところではあります。他の公務の関係からそれぞれのお席にお配りさせていただいております。なお、委員の皆様方のご紹介につきましては、お手元の委員名簿にて代えさせていただきます。
- ・本日の出席委員は、10名であります。

（配布資料 確認）

- ・本委員会は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針第3条の規定に基づき、個人に関する情報や法人、その他の団体に関する情報を除き公開とさせていただきます。なお、本委員会議事録につきましては、情報公開コーナー及び本市ホームページにて公開させていただきます。
- ・本日の傍聴者は0人です。
- ・本日は、第1回目の委員会であるため、委員長は決まっておられません。そのため、委員長が選出されるまでの間につきましては、仮委員長として事務局の長寿・障がい福祉課長 山本が務めさせていただきます。

## 2 （仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会委員長、副委員長の選出について

### ○仮委員長（事務局：山本）

- ・委員長の選出方法につきましては、本委員会の要綱第4条第1項により、委員の互選により選出することとなっておりますが、委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。

### ○松岡委員

- ・委員長の選出について、指名推薦の方法でいかがでしょうか。

## 議事概要

### ○仮委員長（事務局：山本）

- ・ただいま、松岡委員より指名推薦とのご提案をいただきましたが、他にご意見ございませんでしょうか。

（委員一同 異議なし）

### ○仮委員長（事務局：山本）

- ・それでは、指名推薦で選出させていただきたいと思います。委員の皆様、どなたかご推薦をお願いいたします。

### ○松岡委員

- ・（仮称）小牧市第3老人福祉センターの建設地選定委員会の委員長を務められ、知見も高い区長会連合会長の小柳委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（委員一同 異議なし）

### ○仮委員長（事務局：山本）

- ・それでは、異議なしということでございましたので、小柳委員に本委員会の委員長をお願いしたいと思います。
- ・それでは、これで仮委員長の職を引かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
- ・小柳委員につきましては、委員長席へご移動をお願いいたします。

### ○事務局：白木

- ・それでは、小柳委員長、ご挨拶をお願いいたします。

### ○小柳委員長

- ・只今、皆様のご推薦をいただきまして、本委員会の委員長を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。
- ・松岡委員からもお話がありましたが、建設地選定委員会の際にも委員長を務めさせていただきました。その際には、委員の皆様のご協力により、建設地を選定することができました。今回においても、委員の皆様のご意見を十分にお伺いし、協力しながら進めさせていただければと思います。
- ・先程、事務局からのお話にもありました通り、本市においても少子高齢化が急速に進展している状況にあります。9月12日に開催された敬老会では、75歳以上の高齢者が17,586人と非常に多いことが示されておりました。また、私が暮らす桃花台地区においても、65歳以上の高齢者率が49.4%と非常に高い値となっており、危機感を持っています。その一方で、第1、第2老人福祉センターについては、数多くの高齢者の方々に利用いただいている状況です。
- ・本委員会には、学識経験者でおられる中村昭典委員、また、実際に第1老人福祉センター「野口の郷」を運営しておられる稲垣委員もご出席いただいておりますので、それぞれのお立場からご意見をいただきながら、最終的に計画をまとめていければと考えております。皆様、よろしくをお願いいたします。

### ○事務局：白木

- ・小柳委員長、ありがとうございました。
- ・それでは、以後の進行につきましては、小柳委員長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

### ○小柳委員長

- ・それでは、本委員会設置要綱第4条第1項の規定に基づき、副委員長についても委員の互選により選出することとなっておりますが、先程と同様に指名推薦の方法でいかがでしょうか。

（委員一同 異議なし）

## 議事概要

### ○小柳委員長

- ・異議なしとのことですので、指名推薦でお願いしたいと思います。どなたかご推薦をお願いいたします。

### ○松岡委員

- ・今回の施設整備予定地である味岡地区で民生委員・児童委員連絡協議会でご活躍いただいております今村委員でいかがでしょうか。

### ○小柳委員長

- ・ただいま、松岡委員より味岡地区でご活躍いただいている今村委員をご推薦いただきましたが、委員の皆様、いかがでしょうか。

(委員一同 異議なし)

### ○小柳委員長

- ・それでは、今村委員を副委員長とさせていただきます。今村委員、よろしくをお願いいたします。

## 3 議事

### (1) 建設検討委員会の趣旨について

- ・次第3の議事に移りたいと思います。(1) 建設検討委員会の趣旨について、事務局より説明をお願いします。

### ○事務局：山本

- ・それでは、(1) 建設検討委員会の趣旨について、ご説明いたします。
- ・本委員会を開催するに至った経緯について、ご説明いたします。
- ・現在、本市が設置及び管理を行っている老人福祉センターは、篠岡地区の「野口の郷」と北里地区の「小針の郷」の2箇所があり、市内在住の60歳以上の方々の健康の増進や教養の向上などの場となっております。
- ・利用者は年々増加傾向にあることから、平成28年度に(仮称)第3老人福祉センターに関する基本調査を実施し、本市内に3箇所目の老人福祉センターを整備することが望ましいと結論付けました。建設場所については、法的に市街化区域内に限定されることから、市街化区域内の久保一色地内、間々原新田地内、西之島地内の3箇所を候補地とし、平成29年度にはこれらの候補地から施設建設に最も適した場所を選定するため、建設地選定委員会を開催し、全会一致で久保一色地内を建設地として決定いたしました。
- ・このような経緯を踏まえ、今年度開催する本委員会においては、(仮称)第3老人福祉センターの整備にあたり、必要となる機能や役割、基本コンセプト等の検討を行い、基本構想・基本計画を策定するため、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。
- ・続いて、本委員会のスケジュール等について、資料2に基づきご説明いたします。
- ・第1回目である本日は、老人福祉センターの機能と役割、建設地における敷地条件等について事務局より説明させていただいた上で、ご意見をいただければと思います。
- ・第2回目の委員会については、11月20日(火)を予定しております。内容としましては、(仮称)第3老人福祉センターの機能やコンセプト等の基本方針についてご意見をいただきたいと考えております。ここまでの検討内容が基本構想となります。
- ・第3回目の委員会については、12月18日(火)を予定しております。第3回から基本計画に関して検討を進めたいと考えております。今回、市民の方々から広くご意見をいただくために、パブリックコメントを来年1月に予定しております。そのため、第3回委員会では、事務局より計画書(素案)をご提示させていただき、ご意見をいただければと思います。
- ・平成31年1月から2月にかけて、パブリックコメントを実施した後、第4回目の委員会を開催したいと思います。日程については、平成31年3月頃を予定しております。パブリックコメントにより、市民の皆様からいただいたご意見を総括いたしまして、計画書(案)をご提示させていただきたいと考えております。
- ・半年間という非常に短い期間の中で、計4回の委員会を開催することになり、委員の皆様にはご負担となることもあるかもしれませんが、より良い計画の策定のため、ご協力いただければ

## 議事概要

と思います。よろしくお願いいたします。

- ・議事（１）についての説明は以上になります。よろしくお願いいたします。

### ○小柳委員長

- ・ご説明ありがとうございました。事務局より、これまでの経緯と本委員会の趣旨、今後のスケジュールについて、ご説明をいただきましたが、委員の皆様、ご意見等がありますでしょうか。
- ・特にご意見等がなければ、次の議題に移りたいと思います。もし、ご意見やご質問等があれば、後程、改めてお伺いさせていただきます。よろしくお願いいたします。

（発言なし）

## （２）老人福祉センターの機能と役割について

### ○小柳委員長

- ・それでは、（２）老人福祉センターの機能と役割について、事務局より説明をお願いします。

### ○事務局：山本

- ・それでは、お手元の資料３に基づき、ご説明いたします。よろしくお願いいたします。
- ・１ページ目の「建設予定地の概要」について、ご説明いたします。建設予定地は、先程もお話させていただいた通り、久保一色地内での建設を予定しております。具体的には、名鉄小牧線田県神社前駅付近で、駅前整備事業として平成28年度に整備された駅前ロータリーや移転した大垣共立銀行の北側に位置する一団の土地です。建設地の大半が小牧市土地開発公社及び本市所有の土地ですが、一部民有地も含まれております。また、建設地南側には（株）中部電力の送電鉄塔があり、敷地中央部には準用河川である佐久間川が東西に横断しております。
- ・続いて、２ページ目の「老人福祉センター」について、ご説明いたします。まず、老人福祉センターとは、老人福祉法に規定された施設であり、無料又は低額な料金で老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する施設として、法律上定義されております。本市においては、既に「野口の郷」及び「小針の郷」の２箇所の老人福祉センターが設置されており、いずれの施設も法律上の区分として「特A型」になります。資料左下段には、「特A型」の施設内容を整理させていただいておりますが、今回新たに整備する（仮称）第3老人福祉センターにつきましても、「特A型」を想定していることから、これらの内容を盛り込んだ施設を想定しております。
- ・続いて、３ページ目の「（仮称）第3老人福祉センター 建築施設の機能検討」について、ご説明いたします。こちらの資料では、新たな老人福祉センターに求められる機能を整理させていただいております。まず、施設整備に関する計画として、平成30年3月に策定した「第7次小牧市高齢者保健福祉計画」があります。この計画は、本市における今後の高齢者福祉施策を位置付けた計画になりますが、その中で、老人福祉センターなど的高齢者の身近な場所においては、「健康に関して学ぶ場」及び「気軽に相談できる場」の充実とともに、「楽しみながら主体的に健康づくりや介護予防に取り組める仕組みづくり」が明記されております。また、「地域住民との交流」や「軽スポーツ、娯楽、健康増進」、「教養、生きがいづくり講座」などについても取り組むことが明記されております。
- ・資料右側のグラフですが、こちらは（仮称）第3老人福祉センター整備にあたり、平成28年度に実施した基本調査の中の既存施設に関する利用者アンケート結果の一部になります。その中では「マッサージ」「入浴」「卓球」といった健康増進に関する項目や「芸能ショー」「カラオケ」といった教養・文化分野に関する項目、「利用者仲間との交流」「喫茶利用」といったコミュニティ機能に関する項目において、利用者ニーズが高い傾向にあります。この結果より、これらの機能を備えた老人福祉センターが求められており、（仮称）第3老人福祉センター整備においても、考慮すべき点だと考えております。

### ○小柳委員長

- ・ご説明ありがとうございました。資料説明の途中ではありますが、ここまでの事務局からの説明に関して、確認しておきたい点やご意見等がありますでしょうか。

## 議事概要

### ○酒井委員

- ・昨年度の建設地選定委員会の現地視察でも話題に出ていたかと思いますが、建設地南側にある中部電力の送電鉄塔に関して、施設建設に対する障害等については、何か考慮されていますか。

### ○事務局：山本

- ・この送電鉄塔は移動させることができませんので、そのような状況を十分に考慮し、施設配置の検討を進めております。後程、改めて説明をさせていただきたいと思います。

### ○桑山委員

- ・年齢的にまだ利用できないため詳細なことはわかりませんが、「野口の郷」が新しくなったという話は年配の方々から伺っており、とても評判が良いように思います。一点、質問ですが、3ページ右側のグラフでヨガやリズム体操などがありますが、このような催しは講師の方に来ていただいて教えていただけるのでしょうか。

### ○事務局：山本

- ・本日まで参加いただいている委員の中に、第1老人福祉センターの管理をお願いしている稲垣委員がいらっしゃいますので、お答えいただいてもよろしいでしょうか。

### ○稲垣委員

- ・ヨガやリズム体操については、それぞれ講師の方をお招きして、講座を開いています。

### ○小柳委員長

- ・後程、稲垣委員には具体的に利用状況等についてご説明をいただく場を設けようと思っておりますので、よろしくお祈いします。

### ○今村委員

- ・建設地の動線として、幅員6mの道路が整備されることにより、地区内の交通量が増え、騒音や排気ガスなどの課題が考えられますが、この地区内に残られる住民の方々から何か要望等は出ていますか。

### ○事務局：山本

- ・この地区内にはいくつか民有地が含まれておりますが、地権者の方々に対して、現段階では施設整備に関する具体的なお話はしておりませんので、まだご要望等は伺っておりません。今後、検討を進めるにあたり、改めて地権者の方々へご説明をさせていただくことを考えておりますので、その際には何かしら要望等は出てくるのかもしれませんが。

### ○小柳委員長

- ・それでは、引き続き4ページ以降の資料に関して、事務局より説明をお願いします。

### ○事務局：山本

- ・引き続き、4ページ目の「(仮称)第3老人福祉センターの機能検討<必要となる諸室>」についてご説明いたします。まず、(仮称)第3老人福祉センターに設ける機能に関して、イメージを持っていただくため、既存2施設の諸室構成と各ゾーンのイメージ写真を掲載しております。一点、補足ですが、「野口の郷」の延床面積が約3,800㎡となっておりますが、これは構造上、1階部分を駐車場、2階部分を諸室としていることから、このような面積となっております。実際の諸室面積は約1,800㎡と「小針の郷」と同規模となります。今回整備する(仮称)第3老人福祉センターにおいても、既存2施設と同規模の延床面積、同様の機能を確保することを想定しております。
- ・5ページ目の「(仮称)第3老人福祉センター建築施設の動線検討」についてご説明いたします。こちらの資料では、(仮称)第3老人福祉センターの敷地、建物配置及び車や歩行者の動線を示しております。ピンク色で示した部分が今回の施設整備地となりますが、先程からご説明させていただいているように、敷地内に一部民有地を含んでいるため、この敷地すべてが施設整備地となる訳ではありませんので、ご承知おきください。

## 議事概要

- ・施設整備地の条件については、西側で県道名古屋犬山線に接道しており、東側で名鉄小牧線と近接しております。また、南側では田県神社前駅前ロータリーと近接しております。敷地中央部には、準用河川の佐久間川が横断していることや（株）中部電力の鉄塔用地があります。
- ・建物配置については、敷地中央部に河川が横断しているため、河川を跨いだ建物配置ができないことから、赤い点線枠で囲った敷地北東部にて建物を配置することを想定しております。建物の延床面積は約2,000㎡、構造は高齢者の利便性を考慮し、1階平屋建てを想定しております。また、残りの土地については、施設利用者の駐車場や老人クラブで利用される大型バスのロータリーの配置を予定しております。なお、今後整備する幅員6mの道路を挟んだ南西部の土地については、既設住宅があることから、今回の整備区域から除外しております。
- ・続いて、動線についてですが、青色の矢印は車両動線、ピンク色の矢印は歩行者動線を示しております。駐車場から建物までのアクセスについては、佐久間川を渡れるように歩行者専用の橋を架けることを想定しております。

### ○小柳委員長

- ・事務局からの説明に関して、何かご意見やご質問等ありますでしょうか。
- ・なお、本委員会には「野口の郷」の所長でいらっしゃる稲垣委員にもお越しいただいておりますので、指定管理者という立場から何かご意見をいただければと思います。よろしく願います。

### ○稲垣委員

- ・「野口の郷」は10月1日より新しい施設となりましたが、この1ヶ月間で新たに150名程度の方が新規登録され、ご利用いただいております。これまでは通年で300名超という新規登録でしたので、改めて老人福祉センターへの関心の高さを感じております。また、日頃から多くの利用者にご利用いただいている諸室としては、集会室、浴室、ヘルストロン室、機能回復訓練室、食堂、交流・談話スペースが挙げられます。
- ・続いて、先程事務局からも説明がありました、平成28年度実施の利用者アンケートの結果に沿ってお話をさせていただきたいと思っております。まず、健康増進の項目について、「マッサージ」「入浴」「卓球」が挙げられておりますが、「マッサージ」につきましては、現在は電位治療器、背中及びふくらはぎ用のマッサージ機がヘルストロン室で導入をされております。非常に静かな空間でリラックスしていただきながらご利用いただいております。また、談話スペースにはマッサージチェアが導入されております。「入浴」につきましては、非常に人気があり、旧施設よりも開放感があるとの声を数多くいただいております。「卓球」は、現在機能回復訓練室で行っております。さらに機能回復訓練室では、旧施設にはなかったトレーニング機器が導入され、多くの方にご利用いただいております。
- ・その他、「野口の郷」では7つの健康教室を開催しております。新たに構成していただいた多目的室にて太極拳、気功、ヨガ、太鼓、運動器の機能アップなどの健康教室が開催できるようになりました。これによりまして、旧施設と比較し、健康増進の機能が充実されたと感じています。
- ・次に、教養・文化分野に関する項目として、「芸能ショー」「カラオケ」が挙げられておりました。いずれも集会室で行われており、非常に人気があるイベントになっています。集会室については、旧施設と同等の広さとなっており、施設内でも一番面積が大きい諸室となっています。また、ステージ上で歌や踊り、カラオケを楽しんでいただいている状況です。集会室には、老人クラブの方々や個人で来館された利用者の方々が多く集まり、賑わう場所でもあります。さらに教養・文化分野としては、文化教室として会議室や新たに構成された創作室を利用して、パソコン、英会話、折り紙、絵手紙、書道、水彩パステル画、和太鼓の教室を開催しています。そして、図書・情報コーナーの新設により、娯楽・教養・生きがいがづくりの場としてご利用いただいております。
- ・最後に、コミュニティ機能に関する項目について、「利用者仲間との交流」「喫茶利用」が挙げられております。交流・談話スペースは、明るく開放感がある空間となっていることから、ホテルに来た様だ、との声をいただいております。また、食堂についても景観を楽しみながらくつろげるようになっております。来年春の全面オープンになりますと、食堂専用の出入口が設けられますので、多世代間の交流も期待できるかと考えております。
- ・以上で「野口の郷」の利用状況について、説明を終わります。

## 議事概要

### ○小柳委員長

- ・稲垣委員、ありがとうございました。指定管理者という立場から改築された「野口の郷」の利用状況についてご説明をいただきました。本日は学識経験者として、中村昭典委員にもご出席いただいておりますので、ご意見をいただければと思います。よろしくをお願いします。

### ○中村昭典委員

- ・まず、学識経験者という立場から本委員会に参加させていただく意味について、私なりに少し考えてみました。今回の（仮称）第3老人福祉センターは、この地域の老人福祉に貢献するという明確な目的が定められているかと思います。また、今回の施設整備に伴い利用者ニーズを把握していることや、「野口の郷」や「小針の郷」といった前例もあることから、これまでと同じような老人福祉センターを整備するのであれば、私どものような第三者が意見を申し上げる必要はないのかなと思っています。
- ・ただし今回は、これまでの2施設とは異なり、田県神社前駅直近という立地性が大きな特徴となっているかと思います。この場所は、当大学におけるスクールバスの発着所となっており、数多くの学生がこの場所を利用していることから、私どもにとっても非常に身近で大切な場所だと考えています。
- ・駅前にあるタリーズというカフェでは、学生が乳幼児向けに絵本の読み聞かせを行っており、これが多くの方に利用させていただく要因の一つだと伺っております。このように、老人福祉センターにおいても、元々ある機能・目的に加えて、新たな要素を追加することによって、これまでにない利用の仕方や新しいユーザーの創出につながると思います。
- ・多世代の方が利用する交通の要衝であるこの場所で今回施設を整備する訳ですから、この立地性を活かして、新たな機能や目的などを加えて老人福祉に寄与することができる施設を整備することも大切なことではないかと思っております。そのためには、施設を整備してからではなく、整備する前の段階で考えていく必要がありますので、その辺りに関して期待をされて今回参加させていただくことになったのかなと考えております。
- ・当大学には様々な学生や教職員がおり、この場所を身近に感じておりますので、今回の施設整備に関して何かしら貢献できるのではないかと考えております。また、当大学だけではなく、近隣大学等にもお声掛けいただくことで、相互に協力していただける部分もあるかと思えます。せっかくの機会なので、ぜひ活用していただければと思います。
- ・例えば、当大学には保育園の先生や幼稚園教諭を育成する教育保育学科や食育につながる管理栄養士を養成する管理栄養学科などがあります。また、昨今ではアジアからの留学生を数多く受け入れており、日本人とは少し違う感覚を持ち、この先日本で就労したいと考えている若者たちがたくさん学んでおります。そういった特徴もありますので、学生と老人の皆さんとが何か交流する機会を通じて、貢献できることがあれば考えていきたいと思っております。

### ○小柳委員長

- ・中村昭典委員、ありがとうございました。大切なお話をいただいたような気がします。特に老人福祉センターといえども、世代間の交流ができるようなそういった考え方も必要ではないかということ、若い人達が飛び込んでくるようなそういう雰囲気づくりをする、あるいは施設づくりをする、そのような立場からご意見をいただいたかと思えます。
- ・他の委員の方から、ご意見等はありませんでしょうか。

### ○中村豊子委員

- ・中村昭典委員のお話をお伺いして思ったのですが、教養・文化分野の中に図書館やネット利用がありますが、このような機能の中に、学生が講師やボランティアとして入っていただくことはできないのでしょうか。

### ○中村昭典委員

- ・恐らくできるかと思えます。当大学には小規模ながらも図書館がありますので、何か貢献できるような方法があるかと思えます。例えば、当大学の図書館の中に、老人の方々が知りたいような知識を綴った図書があれば、それらを交流させて使っていただくことは十分可能かと思えます。

## 議事概要

### ○桑山委員

- ・老人福祉センターは60歳以上の方しか入れないのでしょうか。例えば、利用者の付添の方や学生などは、入ることは出来ないのでしょうか。

### ○事務局：山本

- ・老人福祉センター自体は条例の中で60歳以上の方と規定しておりますが、「小針の郷」では、毎週土曜日と第3日曜日に市内在住の方に限って年齢に関係なくご利用いただけるようになっております。今回改築した「野口の郷」や、今後整備する（仮称）第3老人福祉センターにおいても、一般開放を行う日を設けることも想定しております。

### ○中村昭典委員

- ・例えば、老人福祉に寄与するという目的を外さずに、その目的のために違う世代が協力をするということであれば、目的外利用にはならないかと思っておりますので、使えるというように解釈してもよろしいでしょうか。

### ○事務局：山本

- ・利用者という位置付けでいうと難しいかと思っておりますが、利用者に関わる立場としての参加であれば可能かと思っております。

### ○小柳委員長

- ・ご意見をお聞きして、これからは若い世代の方々にも積極的に参加していただきながら、老人福祉を充実させることが大切なことではないかと感じました。
- ・他にご意見がないようでしたら、本日の議事について終了とさせていただきます。

## 4 その他

### ○小柳委員長

- ・続きまして、次第4のその他に移りたいと思います。事務局より、説明をお願いします。

### ○事務局：白木

- ・それでは、今後の委員会の予定について、改めてご報告いたします。
- ・次回、第2回建設検討委員会につきましては、平成30年11月20日（火）午前10時を予定しております。ただし、会場につきましては、本日の会場とは異なり、本庁舎4階404会議室を予定しておりますので、お間違いのないようよろしくお願いいたします。
- ・第3回建設検討委員会につきましては、平成30年12月18日（火）午前10時を予定しております。会場につきましては、第2回と同様に本庁舎4階404会議室となります。
- ・第4回建設検討委員会につきましては、平成31年3月頃を予定しております。こちらにつきましては、現段階で日程が決まっておりませんので、決まり次第改めて、ご連絡させていただきます。
- ・以上で事務局からの報告を終わります。

### ○小柳委員長

- ・ありがとうございました。事務局より、今後の会議日程についてご報告いただきました。年末から年度末にかけ、皆さんお忙しい時期だとは思いますが、積極的にご参加いただきまして、ご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。
- ・それでは、これをもちまして第1回（仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会を閉会いたします。皆様、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

以上